

こしば新聞

令和4年4月25日(月)46号



【お問い合わせ先】
 自由民主党
 東京都品川区第三十四支部
 〒140-0014
 品川区大井 5-6-2-101
 ☎ 090-6106-2272
 Fax 03-6303-7037
 ※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。

ご相談や区政へ
 のご意見をお聞
 かせ下さい。
 ぜひラインも



予算特別委員会

3月22日まで行われました
 予算特別委員会。小芝の質問
 と区の回答について前回に続
 きまして取り上げます。今回
 は衛生費と土木費と教育費
 です。衛生費ではエコルとごし、
 土木ではコミュニティバス、教
 育では稲作を通じた食育につ
 いて質問しました。

衛生費

こしば
 5月1日に迫ったエコルとごし
 のオープンに向けてこれまで
 区内で行ってきたイベント等
 で本区は広報活動をされて
 きた。私も去年の11月に大
 井町駅前で行われた「どんた
 くまつり」では、「令和4年5
 月1日戸越公園内に「OPEN」

と書かれた横断幕がブースに
 掲げられていて、環境課の職
 員が熱心にチラシを配ってい
 た光景を思い出す。これ以外
 にも展開されてきた広報活
 動の取組みについて教えても
 らいたい。

品川区

プレサイトを展開している。
 そういう中で今後開設される
 講座などのご案内もしつつ、
 大型イベントでは出展しチラ
 シや中身の説明をしている。
 3月中にはLINEを活用し
 まして周知、案内をする予定。
 小芝
 エコルとごしに入場する初年
 度の目標数値、どのくらいの
 人数を予測されているか。

品川区

年間3万人の入場を目標にし
 ていきたい。早朝からの開館

や区民団体が利用しやすい減
 免制度などを生かしながら今
 後、利用者増に積極的に取り
 組んでいきたい。開館にあつ
 ては障害者の方も利用でき
 るように、映像の字幕表示や
 UDトーク、ユニバーサルマナー
 検定の修了者など様々な工夫
 をしながらもなただでも環境学
 習のことについて利用できる
 よう数の量産に努めていき
 たい。

品川区

小芝
 普段の入場とは別に、イベント
 などイレギュラーな部分での
 入場も見込まれると思うが
 そのあたりの考えを教えてください。
 品川区
 IFにあるコミュニティラウン
 ジでは木材を多用した非常に
 広いスペースの部屋があり、自

然観を感じながら、環境講座
 も受けて頂くことで、公園の
 利用者の方の場の交流として
 も利用を促進していきたいと
 考える。

小芝

ツイッターでオープン直前に
 品川区の公式アカウントのフ
 オロワーにたとえばリツイート
 をお願いすることで、拡散さ
 せていくということも一つの
 手ではないかと思う。そのあ
 たりの考えを教えてください。
 品川区

フォロワーとの連携も大事で
 あると思う。しながわ水族館
 など多くのフォロワーがいる
 のでそういうところとの連携
 など、今まで手の届きにくかつ
 た世代について、情報発信を
 隅々まで広げていきたいとい

う思いの中で進めている。

小芝

今後の区の環境政策の展開
 を広めていくうえで、区内に
 本社を置く企業との連携が
 さらに施策の相乗効果を生
 み出すものと考えている。これま
 で決算委員会でも提案をし
 てきたが、連携についての取組
 みを教えてもらいたい。

品川区

脱プラスチックという点で、石
 灰石を利用した日本初の新
 技術であるライメックス技術
 を用いた三菱鉛筆(東大井)
 との連携を視野に進めてまい
 りたいと考えている。国内企
 業との連携により、双方にメ
 リットが生じるようエコルと
 ごしの機能も生かして進めて
 いきたい。

土木費

小芝

3月28日から西大井駅と大森駅を循環するコミュニティバス、通称しなバスが試行運行を開始する。この運行を心待ちにしていた人もいる一方でそうでない方もいる。というのは西大井4、5、6丁目のエリアが今回の試行運行のルートから外されてしまったから。昨年3月から本区が警視庁と協議を重ねる中で西大井を循環するルートは道路幅の狭さにより通行が難しいという課題が出てきたと認識している。道路幅が狭いのであれば、西大井循環ルートだけコンパクトな車両に変えてみることで課題解決に繋がるのではないのか。

品川区

さらに小型のバスとなると定員が3分の1程度まで落ちるというところで、車椅子の方が乗ると7名程度の人数しか輸送できないことになる。区としては西大井循環ルートにも同型のバスを警察との協議の中でなんとか進めていきたい。

い。その一つの打開策として、年度明けになるが具体的な提案をさらに進めていきたい。その一つの考え方として、対向車が来る場合の待機所のような場所を何か所か設けて運行にこぎつけないか具体的に提案しながら警視庁との協議を進めていきたい。

小芝

収支率をその年度毎にみて3年目の収支率が50%以上かどうかでその後の本格運行を判断すると聞いているが、収入の考えを教えてください。

品川区

大きくは運賃収入、それ以外では広告料なども見込んでいる。

小芝

運賃収入について高齢者のニーズが高いわけであるが、シルバーパスを所持している場合、収入に直接影響するわけではない。私はシルバーパスもぜひ金額換算した上でこの収入に組み込んでもらいたいと考えているかがか。

品川区

高齢者施策、福祉施策、あるいは子育て施策を考慮して収

支率を考えるときは定額の220円と換算して収支率を考えていくのは一つの大きな視点であると思う。

3月28日、西大井駅前前で始発を待つしなバス。



教育費

小芝

食育について質問する。一年の決算委員会だったと思うが、農林水産省の事業で和牛を使った学校給食を品川区でも提供してもらいたいと提案した。その後、実現に至り、たくさんの児童・生徒が喜んでくれたと聞いている。そこでまず、食育の意義についてまた食育を通じて子どもたちには

何を学んでもらい、どのような効果が生まれるとお考えなのか、区のお考えを教えてください。

品川区

食育には生産者の立場、消費者の立場がある。また様々な生き物が関わってくるので持続可能な社会に向けて検討する内容であると思う。

小芝

生産者の立場から、作物を育てることも食育に繋がると考える。実際に畑に入ると、土の匂いを嗅ぎ、またその硬さなどを五感で体感すること、栽培の難しさも身に染みると思う。今、バケツ稲といって文字通りバケツに稲を植えて収穫し、家庭のお米と混ぜて食するという取組みが行われている。バケツ稲について品川区の状況を教えてください。

品川区

小学5年生の社会科の「産業」の第一単元として、区内25校でバケツ稲に取り組んでいる。

小芝

私は当時通っていた小学校で田植えから収穫までを体験

した。品川区の小学校でも稲作を体験する取組みを行うことで、米が出来るまでの苦労とその後の楽しみを体で覚えてもらう取組はいかがか？

品川区

小学校の中には水田で米作りをしている学校がある。田植、脱穀の流れを学んでいる。また幼稚園ではわら細工の取組みもあった。

小芝

稲作を通じて収穫後の稲で作ったしめ縄を基に正月飾りを作るなど古から続いてきた先人の歴史に触れることができると考える。八潮の幼稚園では、しめ縄を園児がつくる前に先生が古事記の「天の岩屋戸」を紙芝居で教えている。国の成り立ちの歴史、神話を学ぶというのは次世代に伝統を繋げるという経系の役割を子どもたちが担うことになるかと考えるかがか。

品川区

日本の文化伝統を伝える話題を地域に提供してもらおう働きかけていきたい。

(了)